

# 一般社団法人 日本自動車リサイクル機構

## 第3回 景況調査報告 2021年1~3月期 (報告書版)

前年同期比で経常利益はかなり改善 価格競争の激化は変わらず

集計・分析：東京都市大学環境学部 准教授 木村眞実

### 【調査要領】

- ① 調査時：2021年4月1日～4月15日
  - ② 対象企業：日本自動車リサイクル機構会員企業
  - ③ 調査の方法：FAX・Webの送受信による自計記入を求めた
  - ④ 回答企業数：469社のうち130社(27.7%)から回答を得た(うち、有効回答数127)
  - ⑤ 平均従業員数：役員を含む正規従業員数 26.2人(前回26.9人)  
派遣社員・臨時・パート・アルバイトの数 5.9人(前回8.4人)
- ※DI値(DI: Diffusion Index)「良い」と答えた割合から「悪い」と答えた割合を引いたもの

経済・経営環境が変化するなかで、本調査結果が企業経営の羅針盤となればと考える。今後も、ご回答への協力を頂ければ幸いである。なお、本文中の「△」はマイナスを意味する。

### (1)概況 (業況判断・売上高・経常利益)

#### ①業況判断

2021年1-3月期の業況判断に関するDI値は、前期比(2020年10-12月比)で12.6、前年同期比(2020年1-3月比)で17.3であった。2020年4月～6月と比べた次期見通しでは、15.7が予想される(表1参照)。

従業員数による企業規模別の業況判断に関するDI値(前年同期比)は、1-10人が△8(前回△26)、11-20人が16(前回△10)、21-30人が6(前回△22)、31-40人が78(前回△11)、41-50人が57(前回25)、51-100人が33(前回△11)、101人以上が38(前回9)であった。

本報告書での規模別の従業員数とは、正規雇用と非正規雇用の総数に従い区分し、詳細は以下の通りである。1-10人が40社

(31%)、11-20人が31社(24%)、21-30人が17社(13%)、31-40人が9社(7%)、41-50人が7社(5%)、51-100人が15社(12%)、101人以上が8社(6%)であった。

図1 前年同期(20年1-3月)比 業況判断：DI値17.3

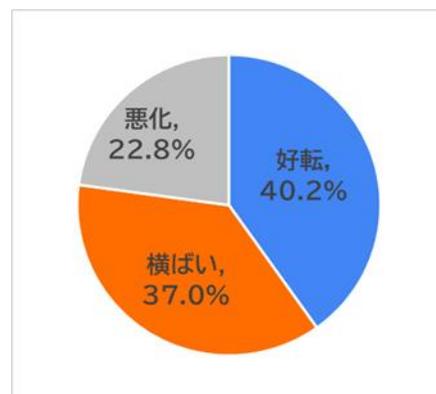


表1 業況判断、売上高、経常利益、運転資金調達の変動

	前期比(2020年10月～12月と比べて)				前年同期比(2020年1月～3月と比べて)				次期見通し(2020年4月～6月と比べて)			
	好転	横ばい	悪化	DI値	好転	横ばい	悪化	DI値	好転	横ばい	悪化	DI値
業況判断	30.7%	51.2%	18.1%	12.6 (-10.0)	40.2%	37.0%	22.8%	17.3 (-12.3)	33.1%	49.6%	17.3%	15.7 (-13.8)
売上高	36.2%	44.9%	18.9%	17.3 (-6.2)	44.9%	35.4%	19.7%	25.2 (-9.2)	33.1%	46.5%	20.5%	12.6 (-12.3)
経常利益	41.7%	40.9%	17.3%	24.4 (-3.1)	46.5%	36.2%	17.3%	29.1 (-3.1)	37.8%	44.9%	17.3%	20.5 (-9.2)
資金繰り	容易になった	変わらない	厳しくなった	DI値	容易になった	変わらない	厳しくなった	DI値	容易になった	変わらない	厳しくなった	DI値
	22.8%	65.4%	11.8%	11.0 (3.1)	29.1%	60.6%	10.2%	18.9 (0.0)	27.6%	61.4%	11.0%	16.5 (-7.7)

## ②売上高

2021年1-3月期の売上高に関するDI値は、前期比（2020年10-12月比）で17.3、前年同期比（2020年1-3月比）で25.2であった。2020年4月～6月と比べた次期見通しでは、12.6が予想される（前掲表1参照）。

従業員数による企業規模別の売上高に関するDI値（前年同期20年1-3月比）は、1-10人がゼロ（前回△29）、11-20人が16（前回△14）、21-30人が24（前回△28）、31-40人が78（前回ゼロ）、41-50人が71（前回42）、51-100人が47（前回22）、101人以上が50（前回18）であった。

## ③経常利益

2021年1-3月期の経常利益に関するDI値は、前期比（2020年10-12月比）で24.4、前年同期比（2020年1-3月比）で29.1であった。2020年4月～6月と比べた次期見通しでは、20.5が予想される（前掲表1参照）。

従業員数による企業規模別の経常利益に関するDI値（前年同期20年1-3月比）は、1-10人が3（前回△29）、11-20人が32（前回ゼロ）、21-30人が18（前回△6）、31-40人が78（前回△11）、41-50人が57（前回58）、51-100人が47（前回11）、101人以上が63（前回18）であった。

## (2)金融（資金繰り・金融機関の姿勢変化の有無と内容）

### ①資金繰り

2021年1-3月期の資金繰りに関するDI値は、前期比（2020年10-12月比）で11.0、前年同期比（2020年1-3月比）で18.9であった。2020年4月～6月と比べた次期見通しでは、16.5が予想される（前掲表1参照）。

従業員数による企業規模別の資金繰りに関するDI値（前年同期20年1-3月比）は、1-10人が3（前回△7）、11-20人が23（前回△7）、21-30人が18（前回ゼロ）、31-40人が56（前回22）、41-50人が29（前回33）、51-100人が20（前回ゼロ）、101人以上が38（前回△9）であった。

図2 前年同期（20年1-3月）比  
売上高：DI値25.2

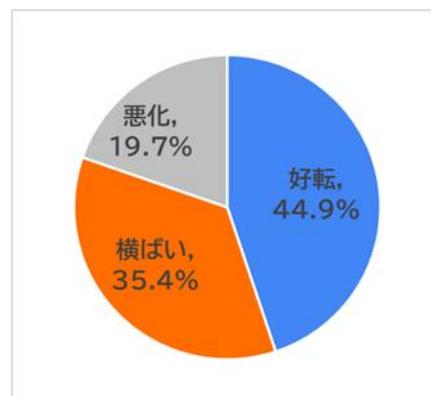
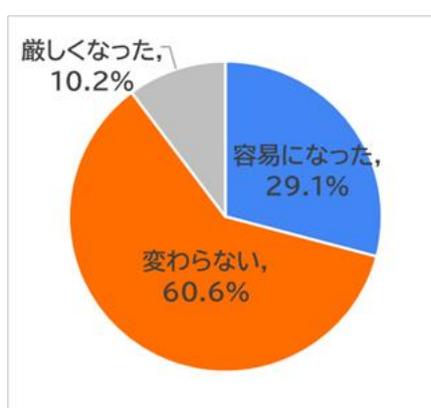


図3 前年同期（20年1-3月）比  
経常利益：DI値29.1



図4 前年同期（20年1-3月）比  
資金繰り：DI値18.9



## ②金融機関の姿勢変化の有無

金融機関の姿勢変化の有無について、「ある」が11社・9%（前回14社・11%）であり、「変わらない」が93社・73%（前回89社・68%）であった（図5参照）。

さらに、姿勢変化の具体的な内容を複数回答可で質問したところ、貸付攻勢が10社（前回調査10社）、出資金要請が1社（前回ゼロ）、経営指針（経営理念）の重視が2社（前回1）であった（表2参照）。

図5 金融機関の姿勢変化

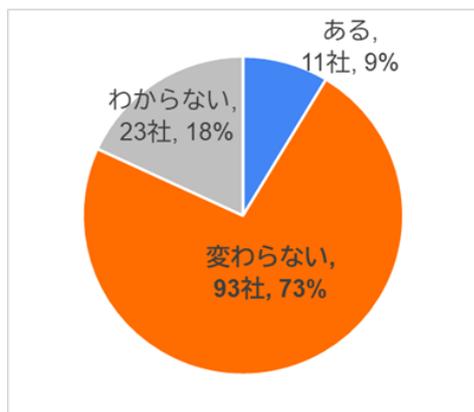


表2 金融機関の姿勢変化の内容（複数回答可）

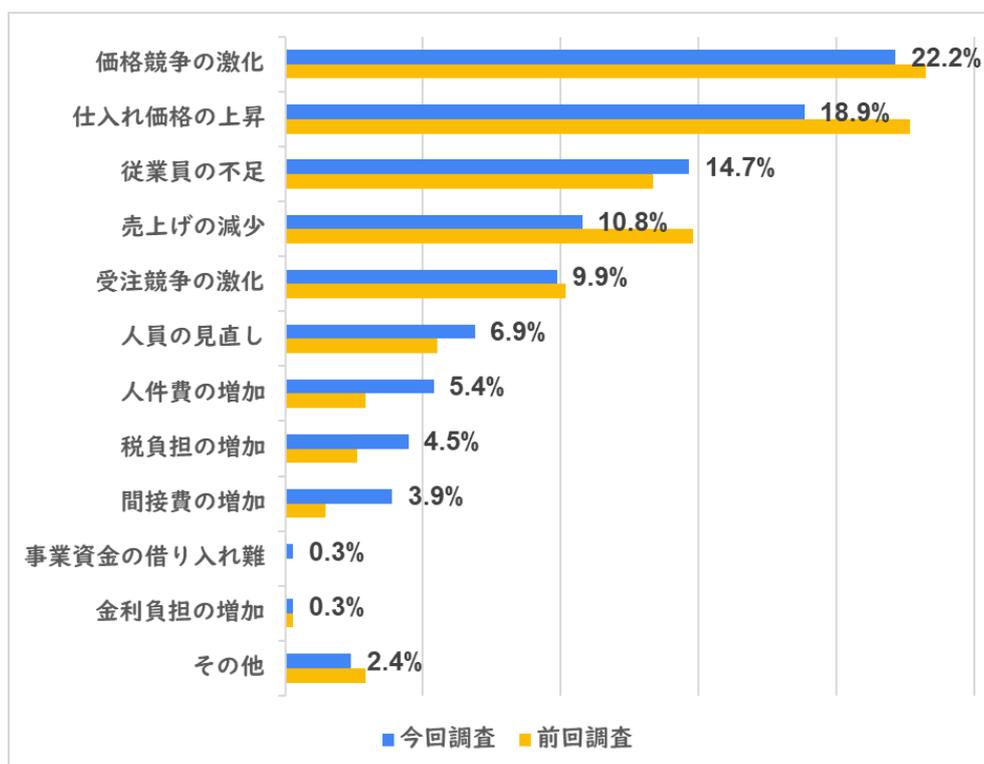
貸付攻勢	10社
出資金要請	1社
経営指針(経営理念)を重視するようになった	2社

## (3)経営課題と取り組み等

### ①経営課題

経営上の課題として深刻なものは、価格競争の激化(74社・22.2%)、仕入れ価格の上昇(63社・18.9%)、従業員の不足(49社・14.7%)が上位であった（図6参照）。

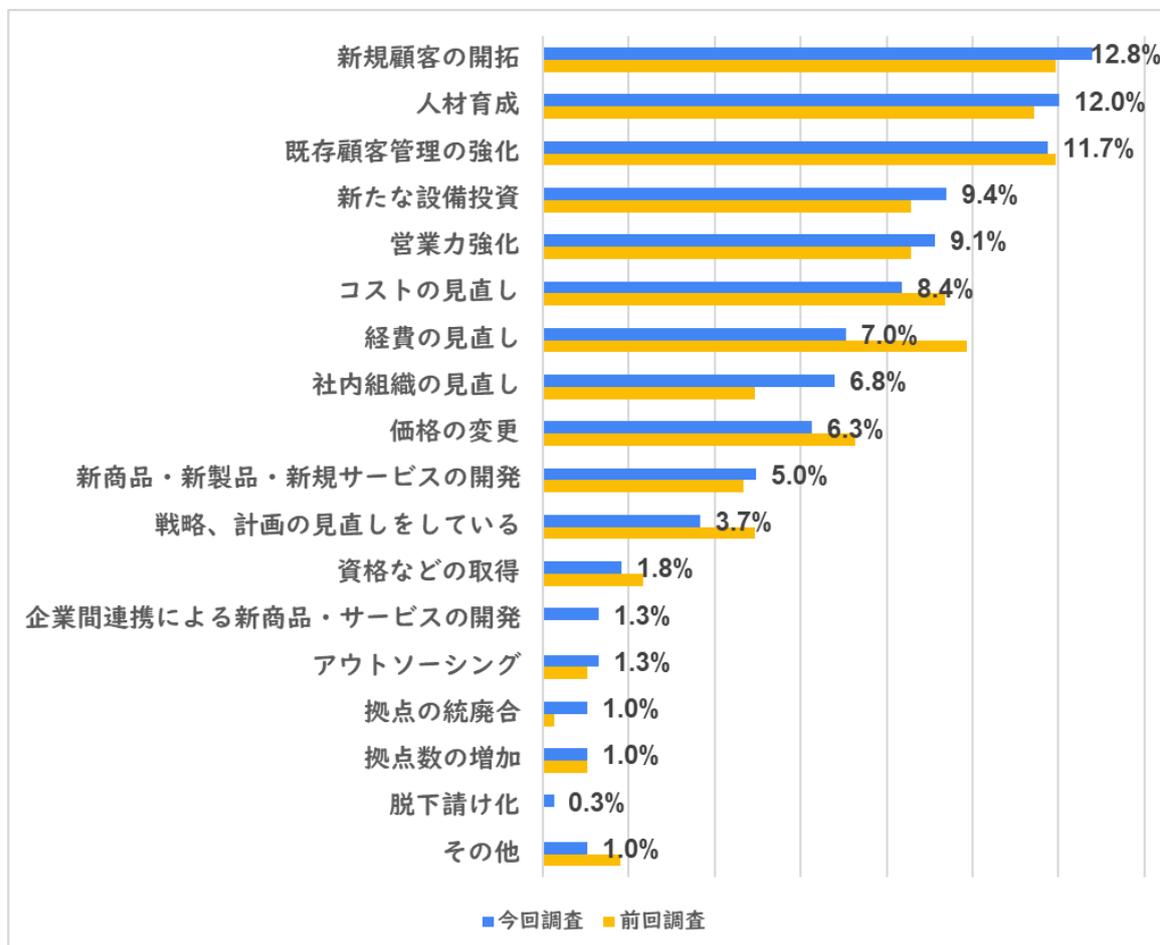
図6 経営上の課題（上位3つまでの複数回答）



## ②現在の取り組み

現在取り組んでいることは、上位から、新規顧客の開拓（49社・12.8%）、人材育成（46社・12.0%）、既存顧客管理の強化（45社・11.7%）であった（図7参照）。

図7 現在取り組んでいること（上位3つまでの複数回答）



## ③経営指針の成文化について

経営理念、経営方針、および経営計画の成文化の状況についてである。なお、経営指針とは、経営理念、経営方針、経営計画の3つの総称である。

経営理念は、「している」が71社・56%（前回65社・50%）、「していない」が52社・41%（前回57社・44%）、「これからつくりたい」が4社・3%（前回8社・6%）であった（図8参照）。

次に、経営方針は、「している」が71社・56%（前回56社・43%）、「していない」が46社・36%（前回65社・50%）、「これからつくりたい」が10社・8%（前回9社・7%）であった（図9参照）。

そして、経営計画は、「している」が65社・51%（前回55社・42%）、「していない」が50社・39%（前回64社・49%）、「これからつくりたい」が12社・9%（前回11社・9%）であった（図10参照）。

図8 経営理念について

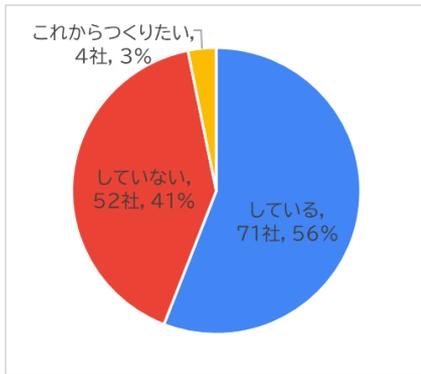


図9 経営方針について

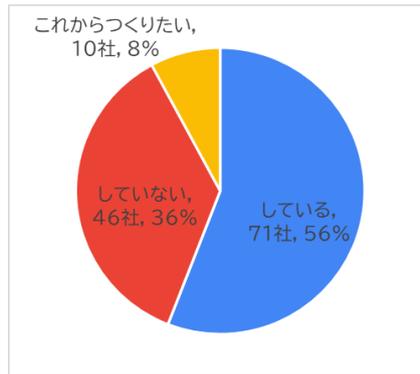
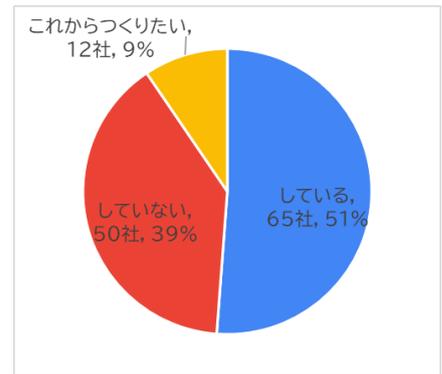


図10 経営計画について



経営指針の成文化について、従業員数による企業規模別で見てみる（表3参照）。

まず、経営理念について、「している」を、策定企業数の多い順で見ると、従業員数101人以上が100%、51-100人が93.3%、31-40人88.9%であった。

次に、経営方針について、「している」を、策定企業数の多い順で見ると、従業員数101人以上が100%、51-100人が93.3%、41-50人が85.7%であった。

そして、経営計画について、「している」を、策定企業数の多い順で見ると、従業員数51-100人が100%、101人以上が87.5%、41-50人が85.7%であった。

表3 経営指針の成文化

	経営理念成文化			経営方針成文化			経営計画成文化		
	している	していない	これからつくりたい	している	していない	これからつくりたい	している	していない	これからつくりたい
全範囲	55.9%	40.9%	3.1%	55.9%	36.2%	7.9%	51.2%	39.4%	9.4%
1-10人	30.0%	65.0%	5.0%	27.5%	62.5%	10.0%	20.0%	65.0%	15.0%
11-20人	38.7%	61.3%	0.0%	45.2%	48.4%	6.5%	41.9%	48.4%	9.7%
21-30人	70.6%	17.6%	11.8%	64.7%	17.6%	17.6%	58.8%	23.5%	17.6%
31-40人	88.9%	11.1%	0.0%	77.8%	22.2%	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%
41-50人	71.4%	28.6%	0.0%	85.7%	0.0%	14.3%	85.7%	14.3%	0.0%
51-100人	93.3%	6.7%	0.0%	93.3%	6.7%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
101人-	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	87.5%	12.5%	0.0%

④お困りごと等の自由記述

- ・ 自由記述として、たとえば、以下の回答があった。
- ・ 人手不足
- ・ 人員不足
- ・ 所属するグループ、また別のグループにおいても統制が取れていないこと
- ・ 防音シート 50万高すぎ
- ・ 車産業の変化に危惧しています。中小企業が生き残れるのか不安です。

(以上)